

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年9月15日

【評価実施概要】

事業所番号	0174100909		
法人名	有限会社 ハニーSAKUMA		
事業所名	グループホーム アイケア住之江		
所在地	北海道釧路市住之江町8番4号 (電話) 0154-21-7030		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年9月11日	評価確定日	平成21年9月30日

【情報提供票より】(平成21年7月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)17年 11月 10日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	21 人	常勤 15人, 非常勤 6人, 常勤換算	11.65人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2階建ての	1~2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	37,000 円	その他の経費(月額)	22,000~34,000 円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		円

(4) 利用者の概要(7月1日現在)

利用者人数	18名	男性	5名	女性	13名
要介護1	3名	要介護2	8名		
要介護3	6名	要介護4	1名		
要介護5			要支援2		
年齢	平均 77.5歳	最低	63歳	最高	94歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	新橋なかやクリニック・大久保歯科医院・間宮泌尿器科
---------	---------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

職員は利用者がそれぞれにしたいことなどをできる限り引き出し、実現できるように努めています。川柳などの趣味やトランプ・カルタ・パズルなど楽しみにしていることを行ったり、おのおの利用者がドライブ・公園・買い物・外食・カラオケボックスなど行きたい場所に行くことができるように毎週各ユニットで一日を当て、利用者と一対一で過ごせるようにしています。また、職員全員が提案書を書き、できることを積極的にとり入れてホーム全体の様々な改善に役立てています。研修にも力を入れ職員の力量のアップを図っています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価では特に必要な改善点はあげられていませんでした。
重点項目	今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4)
	評価結果についてはホームの入り口に誰でもが見られるように置かれています。結果については会議などで職員に周知され、概要については運営推進会議やアイケア通信などでも報告され閲覧を促しています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議の主な議題については 行事の案内や報告について(アイケア夏祭り・誕生会など) 健康管理について 消防避難訓練について 評価報告について 研修予定及び報告について
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	玄関には意見箱が置かれています。ご家族と担当職員との意思の疎通が良好になるほどご意見もおっしゃってくださいるのでご来訪時にコミュニケーションがとれるように努めています。また、重要事項説明書には苦情処理体制を明確にし、外部の苦情相談窓口を複数箇所明記しています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	寒暖などのこともあり、野外での町内会の行事にはだんだん参加が難しくなっていますが、「アイケア夏祭り」を開催して地域の方たちを招待し交流が図られるよう努力したり「アイケア通信」でホームのことを知ってもらえるようにしています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「地域とのふれあいを大切に」を理念とし、地域の中で安心して暮らし続けられることを目指しています。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者、職員は引継ぎ時に理念を唱和するほか、会議の中などでも日々の実践につながるよう話し合われています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入しています。地域行事への利用者の参加は年々難しくなっていますが、ホームが主催する「アイケア夏祭り」などの行事には回覧板や近隣へのチラシを配布するなどして地元の人々との交流に努めています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価結果については会議などで職員に周知をはかっています。また、自己評価表・外部評価表は共用空間に誰でもが見られるように掲示し、運営推進会議や「アイケア通信」でも概要を報告し、閲覧できることをお伝えしています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	町内会長・老人会会長・包括支援センター職員・民生委員・利用者家族・ホーム代表・ホーム長代理・管理者・介護支援専門員が参加し様々な報告や案内などを行いながらご意見をいただいています。		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	事業所は必要に応じて市の担当者と連絡を取り、サービスの質の向上に取り組んでいます。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	ご家族に向けての「アイケア通信」を毎月発行し、利用者一人ひとりの日常の暮らしぶりなどを書き入れてお知らせする他、金銭管理についても請求書・通信と共にその月に使用した領収書や台帳のコピーを送付しています。		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	担当職員と良好な関係が保たれていると苦情も言っただけなのでご来訪時などにコミュニケーションがとれるようにしています。また、苦情処理体制は明確にし重要事項説明書に記載してご家族にお知らせしています。		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	職員の異動や離職は最小限にするよう努力していますが、離職の場合には新しい職員をできる限り早く雇い入れ、仕事を覚えてもらいながらなじみの関係ができるよう努力しています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新入職員には認知症の理解に関する研修から始め、その後業務内容等についての研修を行っています。グループホーム協議会など外部の研修にも積極的に参加する他、法人内でも看護師を中心として定期的に応急処置や救急時の対応などについて研修が行われています。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修などを通して同業者との交流を図る他、管理者研修と実践者研修で他のグループホームに実習に行き、他のグループホームからも実践者研修の実習の受け入れを行っています。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前には、家族だけではなく本人にお会いしお話を聞いています。また、見学・訪問をしてもらい一緒に食事などをしてもらう取り組みもしています。安心できるまで何度も来られる方もいらっしゃいます。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	長年誇りをもって行ってきた仕事に関することを教えていただいたり無理のない範囲で作業をしていただいたりしています。畑仕事などはできなくなってきていますが、作物の育て方などを教えていただいたり食事の準備や後片付けなど一緒に行っています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日常の会話の中から希望、意向を汲み取ることができるよう努め、外食や買い物、カラオケボックスなど行きたい場所をお聞きして出かけたり、生活歴などから一人ひとりの思いを推察することなどで希望に添えるよう検討しています。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員の適切な監理のもとに利用者・ご家族・担当者他職員の話しを聞き、それぞれの意見を取り入れて具体的な介護計画が作成されています。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画書は、計画的に見直しが行われています。また、状態変化などに応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われています。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>一週間に一回は交代で一人ひとりが行きたい場所にお連れする日を作り、ドライブや買い物に出かけたり、ご家族やご本人の話しを聞く中で対応できるものは柔軟に対応することを心がけています。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からのかかりつけ医として総合病院にかかっている方たちもいるほか、内科・歯科の往診が受けられるように支援しています。また、看護師が職員として配置され日常の健康管理をし医師との連携がはかられています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取り介護に関する同意書を用意し利用者・ご家族とも段階的に繰り返し相談しながら慎重に検討対応するような取り決めがなされています。終末期ケアや緊急時の対応への知識も得られるよう研修を受けています。		現在、看護師を中心に急変時のマニュアルを作成しています。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりのプライバシーなどに配慮するよう職員への働きかけが行われています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	夜、ゆっくりテレビを視て朝ゆっくり起きてくる方がいらっしやったり、その日にしたいことなど本人の希望やペースにできる限り沿って過ごせるようにしています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の下ごしらえ、米とぎ、餃子包み、即席漬け、おしぼりの用意、テーブル拭き、下膳、食器拭きなどできることを活かしながら一緒に準備をし、食事や後片付けをしています。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	お湯の温度、入浴の順番など希望に応じられるようにしています。週2～3回を目安にしていますが、必要に応じて5回入る方もいらっしゃるようです。垢こすりをしたり1対1で話を聞く時間としても大切にされています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	カラオケ・散歩や買い物など気分転換のための外出や裁縫・川柳・家事・トランプ・カルタ・パズルなど生活歴やそれぞれの方の力を活かした役割や趣味、楽しみごとへの支援などもされています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物や散歩などの他、交代での週1回の行きたい場所への外出の機会、ひなたぼっこなどできる限り希望に添って外出ができるよう支援されています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけることの弊害についての認識を持ち夜間以外は鍵をかけていません。センサーを活用することもあります。基本的には職員が連携して見守り、利用者の話を聞き、必要な場合には一緒に歩いています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練は年2回行っています。防火管理者を置き、職員連絡網を作るなどして災害・火災に備えています。内部で看護師による救急救命の講習も実施されています。		次の訓練では夜勤帯で職員が一人で行えることを確認する予定になっています。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事は栄養バランスも考えながら作られ主食は一人ひとり計量しています。食事は検食分として2週間は冷凍庫で保管するようにしています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	トイレは片麻痺の方が左右どちらでも使いやすい方から移乗ができるよう逆向きに作られています。また、共用空間には観葉植物が置かれたりメニューを知りたい方のための掲示や利用者が作った川柳、職員と一緒に作った壁紙などが飾られています。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、仏壇を持ち込まれている方もおり、ご飯やお水があげられています。使い慣れた家具やテレビ、健康器具などそれぞれの方が安心できるものが持ち込まれています。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。